

2008年度決算説明会



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

2009年5月

目次

2008年度決算概要

・決算概要Ⅰ－①＜P/L:連結・2行合算＞	2
・決算概要Ⅰ－②＜P/L:各行＞	3
・決算概要Ⅱ－①＜B/S:連結・2行合算＞	4
・決算概要Ⅱ－②＜B/S:各行＞	5
・トップラインの増減要因① ～資金利益	6
・トップラインの増減要因② ～非金利収入	7
・トップラインの増減要因③ ～経費	8
・有価証券関係損益	9
・有価証券残高・評価損益①	10
・有価証券残高・評価損益②	11
・与信費用・不良債権	12
・自己資本の状況	13
・繰延税金資産	14
・業績予想	15

営業の実績

・貸出金	17
・信用保証協会保証付貸出	18
・住宅ローン	19
・預貸金利ざや①	20
・預貸金利ざや②	21
・投資型金融商品	22
・ポートフォリオ(円貨債券)	23

経営戦略

・広域地域金融グループのパイオニアとして	25
・ビジネスマッチングのトップランナーとして	26
・地銀随一の海外ビジネス支援体制	27
・地域No.1のリレーションシップバンクとして	28
・人財・店舗の戦略的再配置	29
・システム共同化(MEJAR)	30
・公的資金返済に向けて	31

2008年度決算概要

決算概要 I ー①<P/L:連結・2行合算>

2009年2月6日公表

〈ほくほくFG連結〉(億円)	〔業績予想〕	09/3期	増減	08/3期
経常収益	〔2,420〕	2,396	▲216	2,612
経常利益	〔260〕	213	▲449	663
当期純利益	〔380〕	370	▲16	386

A

〈2行合算+分割子会社〉(億円)

コア業務粗利益	〔1,690〕	1,686	▲103	1,789
資金利益		1,337	▲30	1,368
うち国内部門		1,322	▲38	1,361
役務取引等利益		238	▲67	305
特定取引利益		15	+3	11
その他業務利益(国債等債券損益を除く)		95	▲9	104
経費(臨時処理分を除く)(▲)	〔930〕	915	+16	899
コア業務純益	〔760〕	770	▲119	889
国債等債券損益		▲25	▲58	32
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)		744	▲177	922
臨時損益		▲547	▲269	▲277
与信費用(▲)	〔315〕	339	+91	247
株式等損益		▲151	▲112	▲38
経常利益	〔275〕	231	▲431	662
特別損益		11	+44	▲33
法人税等(▲)		▲154	▲381	226
当期純利益	〔420〕	397	▲4	402

B

〈ほくほくFG連結〉

当期純利益 370億円 (08/3比▲16億円)

〈2行合算+分割子会社〉

コア業務純益 770億円 (08/3比▲119億円)

…粗利益減少、経費増加

経常利益 231億円 (08/3比▲431億円)

…与信費用の増加、株式等損益の悪化

当期純利益 397億円 (08/3比▲4億円)

…子会社清算決定に伴う法人税等調整額の減少もあり、前年並の水準を確保

連単差の内訳

(億円)	09/3期	増減	08/3期
差額 A-B	▲26	▲11	▲15
その他子会社	▲8	▲18	9
のれん償却	▲24	▲1	▲22
連結調整	6	+8	▲2

決算概要 I ー②<P/L:各行>

(億円)	〈北陸銀行+分割子会社〉			〈北海道銀行〉		
	09/3期	増減	08/3期	09/3期	増減	08/3期
コア業務粗利益	950	▲106	1,056	735	+3	732
資金利益	750	▲32	783	586	+2	584
うち国内部門	741	▲42	784	581	+3	577
役務取引等利益	143	▲41	184	94	▲25	120
特定取引利益	15	+3	11	—	—	—
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	41	▲35	76	54	+26	27
経費(臨時処理分を除く)(▲)	513	+2	511	402	+13	388
コア業務純益	436	▲108	545	333	▲10	344
国債等債券損益	▲10	▲17	6	▲14	▲40	25
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	425	▲125	551	319	▲51	370
臨時損益	▲342	▲160	▲182	▲204	▲109	▲95
与信費用(▲)	198	+2	196	140	+89	51
株式等損益	▲116	▲101	▲14	▲35	▲10	▲24
経常利益	106	▲261	367	125	▲169	294
特別損益	▲12	+11	▲23	23	+33	▲10
法人税等(▲)	▲188	▲309	120	33	▲72	106
当期純利益	282	+58	223	114	▲63	178

決算概要Ⅱ ー①<B/S:連結・2行合算>

〈2行合算+分割子会社〉(億円)	09/3末	増減	08/3末
貸出金	71,567	+2,591	68,976
うち中小企業等	50,505	+367	50,137
うち個人ローン	19,082	+717	18,364
有価証券	17,250	+102	17,148
預金	86,715	+2,640	84,074
うち個人預金	61,907	+2,677	59,230
個人預かり資産	69,043	+1,330	67,712
預金(円貨)	61,655	+2,647	59,008
投資型金融商品	7,387	▲1,316	8,704
外貨預金	251	+29	222
公共債	3,226	▲16	3,242
投資信託	3,909	▲1,330	5,239
金融再生法開示債権	2,275	▲332	2,607
金融再生法開示債権比率	3.07%	▲0.57%	3.64%
〈ほくほくFG連結〉(億円)			
自己資本比率	10.81%	+0.42%	10.39%
Tier1比率	7.58%	+0.10%	7.48%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	22.77%	+6.67%	16.10%
その他有価証券の評価差額	▲279	▲188	▲90

〈2行合算+分割子会社〉

貸出金 **08/3比+2,591億円**
 …事業性貸出・個人ローン・公金ともに増加
有価証券 **08/3比+ 102億円**
 …国債・地方債を中心に増加
預金 **08/3比+2,640億円**
 …個人預金の増加
個人預かり資産 **08/3比+1,330億円**
 …個人預金は順調に増加
開示債権 **08/3比▲332億円**
開示債権比率 **3.07%**

〈ほくほくFG連結〉

自己資本比率 **10.81%**

有価証券の評価差額 **▲279億円**
 …株価の下落
 …サブプライム関連は無し

決算概要Ⅱ－②＜B/S:各行＞

(億円)	＜北陸銀行+分割子会社＞			＜北海道銀行＞		
	09/3末	増減	08/3末	09/3末	増減	08/3末
貸出金	42,933	+825	42,107	28,634	+1,766	26,868
うち中小企業等	30,137	+26	30,110	20,368	+340	20,027
うち個人ローン	9,784	+560	9,223	9,298	+157	9,141
有価証券	8,588	+379	8,209	8,662	▲276	8,938
預金	50,400	+1,308	49,091	36,314	+1,331	34,983
うち個人預金	34,520	+1,235	33,285	27,386	+1,442	25,944
個人預かり資産	39,062	+225	38,836	29,980	+1,105	28,875
預金(円貨)	34,336	+1,218	33,118	27,318	+1,428	25,890
投資型金融商品	4,725	▲993	5,718	2,661	▲323	2,985
外貨預金	184	+16	167	67	+13	54
公共債	2,052	▲102	2,155	1,173	+86	1,087
投資信託	2,488	▲906	3,395	1,420	▲423	1,843
金融再生法開示債権	1,426	▲209	1,635	848	▲123	972
金融再生法開示債権比率	3.19%	▲0.53%	3.72%	2.89%	▲0.63%	3.52%
自己資本比率	10.23%	+0.13%	10.10%	10.45%	+0.32%	10.13%
Tier1比率	7.14%	+0.20%	6.94%	7.27%	▲0.47%	7.74%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	29.02%	+9.83%	19.19%	17.33%	+3.60%	13.73%
その他有価証券の評価差額	▲107	▲134	27	▲74	▲57	▲17

トップラインの増減要因① ～資金利益

- 貸出金・有価証券残高は積み上げるも、利ざや縮小
⇒ 預金金利の上昇、競争激化による貸出金利回り低下

【資金利益(国内部門)の増減要因】

(億円、%)	08/3期			09/3期			増減			要因分析	
	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	レート
〈2行合算〉											
資金利益			1,357			1,319			▲37		
貸出金	67,739	2.07%	1,403	69,363	2.01%	1,400	1,624	▲0.06%	▲2	33	▲36
有価証券	16,443	1.03%	170	17,035	1.01%	172	591	▲0.02%	2	6	▲4
預金・NCD	84,042	0.26%	224	85,830	0.29%	252	1,788	0.03%	27	5	22
〈北陸銀行〉											
資金利益			780			738			▲41		
貸出金	41,002	2.00%	820	41,789	1.93%	807	786	▲0.07%	▲13	15	▲28
有価証券	7,834	1.08%	84	8,045	1.01%	81	210	▲0.07%	▲3	2	▲5
預金・NCD	48,556	0.27%	133	49,592	0.30%	152	1,035	0.03%	18	3	15
〈北海道銀行〉											
資金利益			577			581			3		
貸出金	26,736	2.17%	582	27,574	2.14%	592	837	▲0.03%	10	18	▲7
有価証券	8,608	0.99%	85	8,989	1.01%	90	380	0.02%	5	3	1
預金・NCD	35,486	0.25%	90	36,238	0.27%	99	752	0.02%	9	1	7

10/3期計画 (国内部門)

2行合算		
	平残	利回り
貸出金	+1,250	▲0.09%
有価証券	+1,150	▲0.01%
預金・NCD	+1,700	▲0.07%
北陸銀行		
	平残	利回り
貸出金	+650	▲0.08%
有価証券	+400	0.01%
預金・NCD	+625	▲0.07%
北海道銀行		
	平残	利回り
貸出金	+600	▲0.11%
有価証券	+750	▲0.03%
預金・NCD	+1,075	▲0.08%

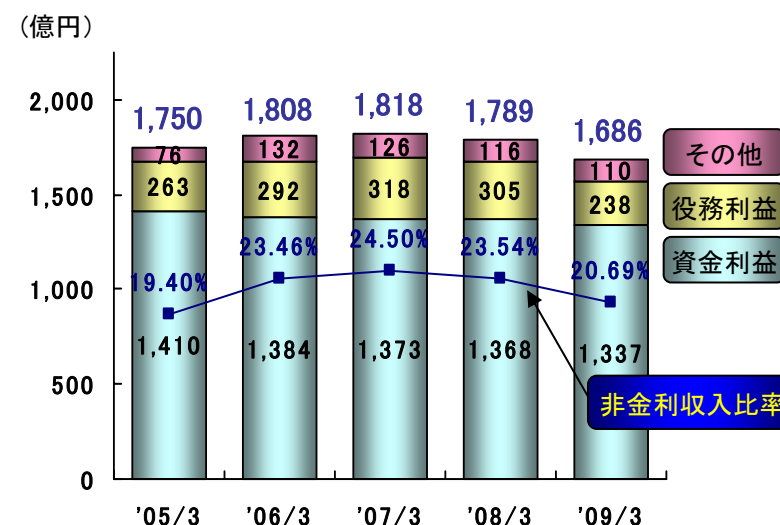
トップラインの増減要因② ～非金利収入

- 市場環境悪化を背景に投信販売が不振
- 金融派生商品収益は増加

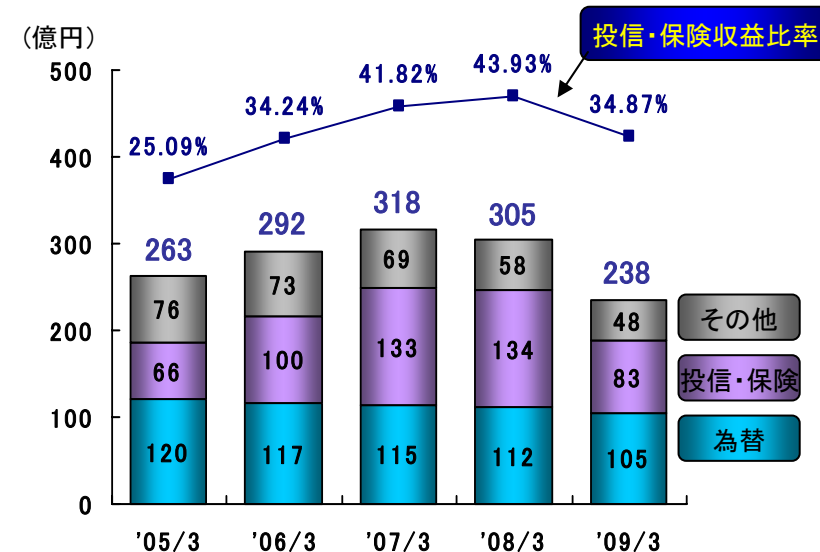
【非金利収入の増減要因】

〈2行合算+分割子会社〉(億円)	09/3期	増減	08/3期
(1) 役務取引等利益	238	▲67	305
役務取引等収益	369	▲64	433
うち受入為替手数料	126	▲7	133
うち投資信託手数料	43	▲46	90
うち保険手数料	39	▲4	44
役務取引等費用	131	+2	128
うち支払為替手数料	21	▲0	21
うちコンビニATM手数料	19	+1	18
うちローン保険料・保証料	84	+1	83
(2) 特定取引利益	15	+3	11
(3) その他業務利益(国債等債券損益を除く)	95	▲9	104
うち外為売買損益(ネット)	65	▲44	109
うち金融派生商品収益	30	+42	▲11
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)	348	▲72	421
(5) コア業務粗利益	1,686	▲103	1,789
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)	20.69%	▲2.85%	23.54%

【コア業務粗利益】〈2行合算+分割子会社〉



【役務取引等利益】〈2行合算〉



トップラインの増減要因③ ～経費

➤ スタッフ増、システム投資等により経費は増加

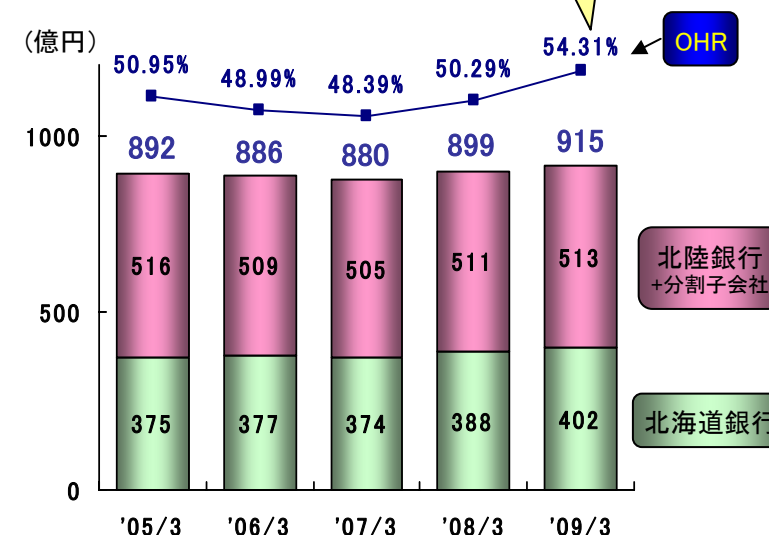
【経費の増減要因】

〈2行合算+分割子会社〉(億円)	09/3期	増減	08/3期
経費	915	+16	899
人件費	411	+10	401
物件費	451	+5	445
税金	52	▲0	52
OHR	54.31%	+4.02%	50.29%
従業員数(嘱託、パート、派遣社員を除く正行員)(A)	4,358	+40	4,318
スタッフ数(B)	4,190	+239	3,951
スタッフ比率(B)/[(A)+(B)]	49.01%	+1.23%	47.78%

※OHR=(経費/コア業務粗利益)

※スタッフ数(B)=嘱託行員+契約社員+臨時雇+派遣・直接雇用パート

【経費・OHRの推移】〈2行合算+分割子会社〉



人件費 08/3比+10億円
 …営業力強化のための人員増加
 スタッフの直接雇用化

物件費 08/3比+5億円
 …減価償却費や預金保険料の増加

有価証券関係損益

- 国債等関係損益 ▲ 25億円 ～リーマン債等
- 株式等損益 ▲151億円 ～株価下落を主因に減損処理

【有価証券関係損益】

	〈2行合算〉			〈北陸銀行〉			〈北海道銀行〉		
(億円)	09/3期	増減	08/3期	09/3期	増減	08/3期	09/3期	増減	08/3期
国債等債券損益	▲25	▲58	32	▲10	▲17	6	▲14	▲40	25
売却益	32	▲4	36	12	+5	6	19	▲10	30
売却損	20	+16	4	0	+0	0	19	+15	4
償還損	10	+10	－	0	+0	－	10	+10	－
償却	27	+27	－	22	+22	－	5	+5	－
株式等損益	▲151	▲112	▲38	▲115	▲101	▲14	▲35	▲10	▲24
売却益	3	▲49	52	3	▲49	52	0	+0	0
売却損	2	▲2	4	1	+0	0	0	▲2	3
償却	152	+64	87	117	+51	66	34	+13	21

※「減損処理」は自己査定の区分ごとに次のとおり実施

要注意先以下	時価が取得原価に比べ下落
正常先	時価が取得原価の50%以上下落、又は、時価が取得原価の30%超50%未満下落かつ市場価格が一定水準以下で推移等

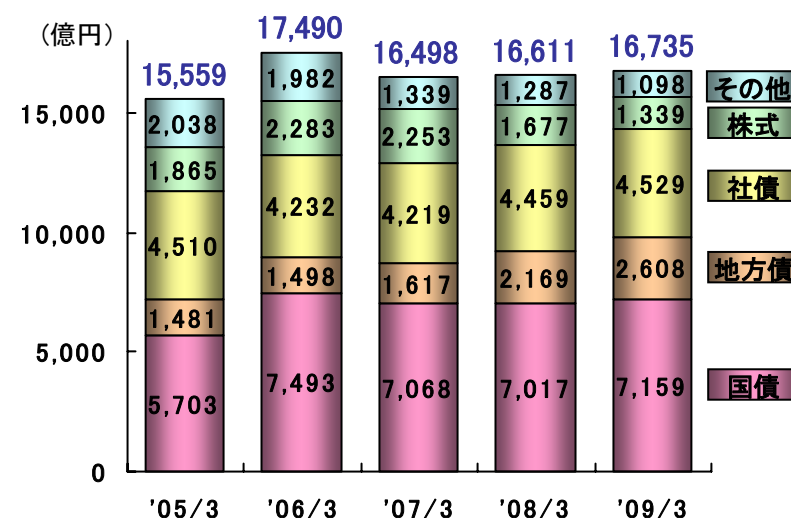
有価証券残高・評価損益①

- 有価証券残高は国債・地方債を中心に増加
- 評価損益は株価下落を主因に減少（サブプライム関連エクスポージャーは無し）

【有価証券残高】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	09/3末	増減	08/3末
有価証券	16,735	+124	16,611
国債	7,159	+141	7,017
地方債	2,608	+438	2,169
社債	4,529	+69	4,459
株式	1,339	▲337	1,677
その他	1,098	▲188	1,287

【有価証券残高の推移】



【有価証券の評価損益】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	取得原価			貸借対照表計上額			評価差額		
	09/3末	増減	08/3末	09/3末	増減	08/3末	09/3末	増減	08/3末
その他有価証券	14,931	+634	14,296	14,651	+445	14,206	▲279	▲188	▲90
株式	1,144	▲87	1,231	1,044	▲319	1,364	▲100	▲232	132
債券	12,646	+792	11,854	12,607	+914	11,693	▲39	+121	▲160
その他	1,139	▲70	1,210	999	▲148	1,148	▲139	▲77	▲62

有価証券残高・評価損益②

➤ 証券化商品にはサブプライム関連・SIV関連資産はない

【証券化商品の状況】

〈2行合算〉

(億円)

	21年3月末残高	証券化商品（ ）内は評価損益				
			①RMBS	②CMBS	③CDO	④ABS
有価証券	17,250	(Δ2) 213	(Δ2) 178	—	(Δ0) 11	(Δ0) 23
国債	7,114	—	—	—	—	—
地方債	2,608	—	—	—	—	—
社債	4,579	(Δ0) 28	(Δ0) * 1 7	—	(Δ0) 6	(Δ0) 13
株式	1,849	—	—	—	—	—
外国債券	734	(Δ2) 185	(Δ2) * 2 171	—	(Δ0) * 3 4	(Δ0) * 4 9
その他証券	364	—	—	—	—	—
金銭の信託	47	(Δ0) 3	—	(Δ0) 3	—	—
買入金銭債権	1,547	1,251	* 1 1,216	18	—	17

(*1)RMBSは、国内金融機関の住宅ローン債権を裏付資産とするものが大半。

(*2)外国債券のRMBSは、米国政府全額出資の連邦政府抵当金庫(ジニーメイ)保証付債のみ。

(*3)CDS(クレジットデフォルトスワップ)を利用した証券化商品は、CDO(格付AAA格)4億円のみ。

(*4)外国証券のABSの裏付資産は、国内企業関連の転換社債やユーロ円債。

➤ 変動利付国債の時価は一部理論価格で評価

【変動利付国債の評価損益】

(億円)

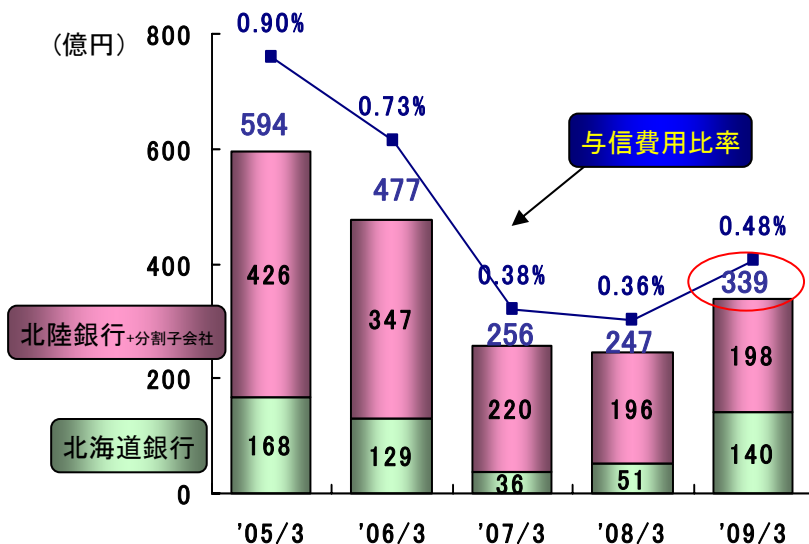
	〈2行合算〉	〈北陸銀行〉	〈北海道銀行〉
評価損益	▲40	▲35	▲4
〈参考〉 評価損益(市場価格)	▲166	▲35	▲131

※変動利付国債の時価は、市場価格を時価とみなせない銘柄を当社の基準により判断し、平成20年12月末から、合理的に算定された価額をもって貸借対照表計上額としております。なお、全て市場価格で試算した場合の評価損益は〈参考〉のとおりです。

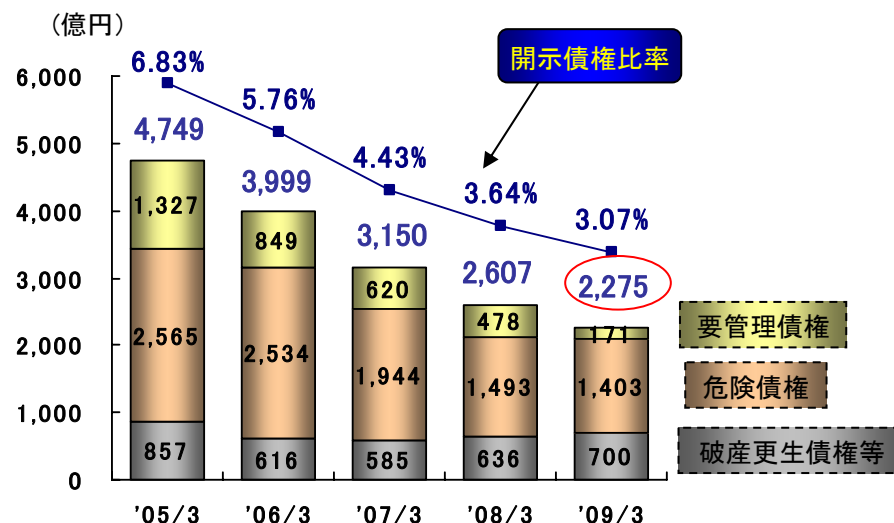
与信費用・不良債権

- 与信費用 339億円(08/3比+91億円)、与信費用比率 0.48% (08/3比+0.12%)
- 開示債権比率 3.07%(08/3比▲0.57%)

【与信費用】〈2行合算+分割子会社〉



【金融再生法開示債権】〈2行合算+分割子会社〉



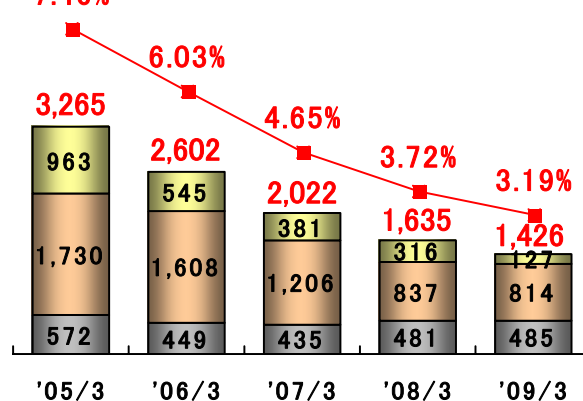
※与信費用

= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入

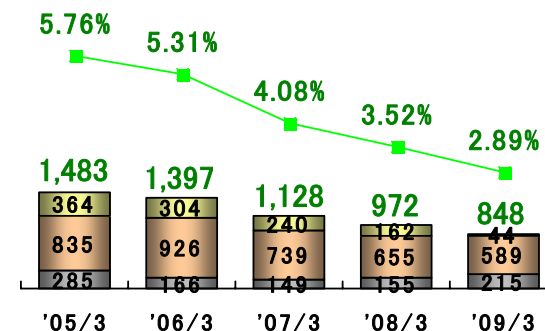
※与信費用比率

= 与信費用 ÷ 貸出金平均残高

〈北陸銀行+分割子会社〉



〈北海道銀行〉



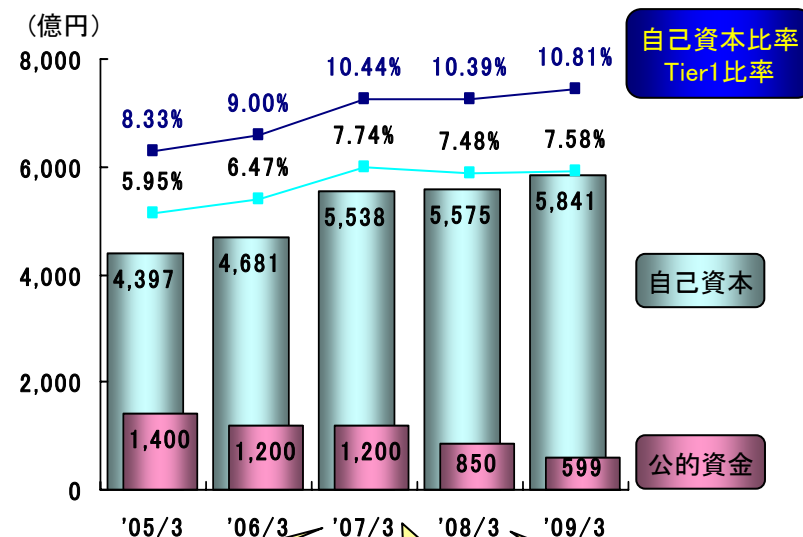
自己資本の状況

- 自己資本比率は10.81% (08/3比+0.42%)
- 公的資金残高599億円

【自己資本比率】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	09/3末	増減	08/3末
自己資本比率	10.81%	+0.42%	10.39%
Tier1比率	7.58%	+0.10%	7.48%
Tier1	4,100	+84	4,015
うち優先株式(公的資金)	599	▲250	850
うち優先株式(民間)	537	-	537
Tier2	1,756	+179	1,577
自己資本合計	5,841	+265	5,575
リスクアセット	54,035	+409	53,626
信用リスク	50,635	+467	50,168
オペレーショナルリスク	3,400	▲58	3,458

【自己資本比率・公的資金残高の推移】



'07/3 パーセルⅡ
 信用リスク「標準的手法」
 オペリスク「粗利益配分手法」

'07/8
 公的資金350億円返済
 (取得総額400億円)

'08/6
 公的資金250億円返済
 (取得総額301億円)

〈北陸銀行(単体)〉

(億円)	09/3末	増減	08/3末
自己資本比率	10.23%	+0.13%	10.10%
Tier1比率	7.14%	+0.20%	6.94%
Tier1	2,278	+50	2,228
Tier2	988	▲28	1,016
自己資本合計	3,266	+23	3,243
リスクアセット	31,910	▲183	32,094
金利リスク量(99パーセンタイル値)	403	+41	362
アウトライヤー比率	12.36%	+1.20%	11.16%

〈北海道銀行(単体)〉

(億円)	09/3末	増減	08/3末
自己資本比率	10.45%	+0.32%	10.13%
Tier1比率	7.27%	▲0.47%	7.74%
Tier1	1,617	▲44	1,661
Tier2	708	+195	513
自己資本合計	2,325	+151	2,174
リスクアセット	22,249	+789	21,460
金利リスク量(99パーセンタイル値)	305	+17	287
アウトライヤー比率	13.15%	▲0.09%	13.24%

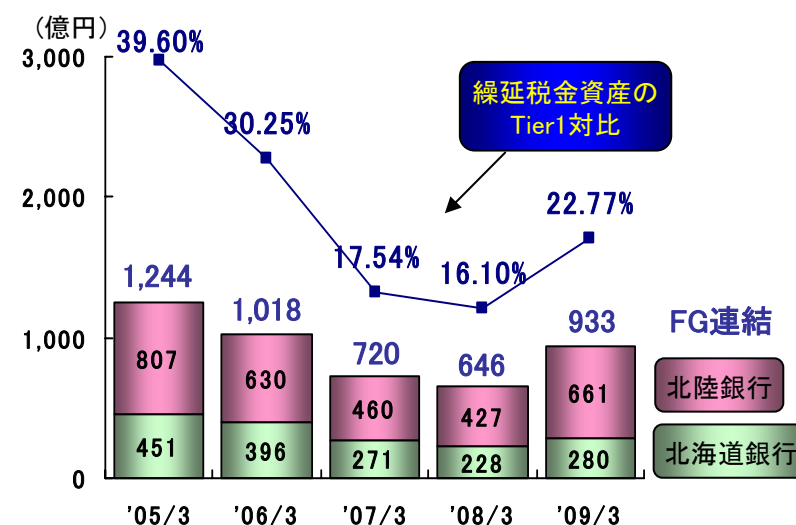
繰延税金資産

- 繰延税金資産 933億円 (08/3比+287億円)
- Tier1対比 22.77% (08/3比+6.67%)

【繰延税金資産の発生の内訳】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	09/3末	増減	08/3末
貸倒引当金損金算入限度超過額	695	▲63	759
減価償却損金算入限度超過額	19	▲1	20
退職給付引当金	159	+2	156
有価証券評価損否認額	145	+17	128
その他有価証券評価差額	96	+54	42
その他	48	▲0	48
繰越欠損金	334	+36	297
(1) 繰延税金資産小計	1,498	+45	1,453
(2) 評価性引当額	499	▲237	736
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	998	+282	716
(4) 繰延税金負債合計	64	▲4	69
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	933	+287	646

【繰延税金資産の推移】



(億円)

	09/3末	増減	08/3末
(1) 繰延税金資産小計	1,100	+21	1,078
(2) 評価性引当額	432	▲206	638
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	667	+228	439
(4) 繰延税金負債合計	6	▲5	11
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	661	+233	427

〈北陸銀行〉

〈北海道銀行〉

	09/3末	増減	08/3末
(1) 繰延税金資産小計	312	+35	277
(2) 評価性引当額	21	▲25	47
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	291	+61	230
(4) 繰延税金負債合計	11	+9	1
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	280	+52	228

業績予想

【10/3期 業績予想】

〈ほくほくFG連結〉

(億円)	中間期 予想	通期 予想	前年度比
経常収益	1,130	2,280	▲116
経常利益	145	400	+186
当期純利益	80	230	▲140

【10/3期 配当予想】

〈ほくほくFG単体〉

	中間 予想	期末 予想	年間 予想	前年度比
普 通 株 式	－	3円00銭	3円00銭	－
第1種優先株式	3円85銭	3円85銭	7円70銭	－
第4種優先株式	3円31銭	3円31銭	6円62銭	－
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭	－

〈2行合算〉

(億円)	中間期 予想	通期 予想	前年度比
経常収益	1,045	2,100	▲85
コア業務粗利益	830	1,690	+6
経費	470	945	+29
コア業務純益	360	745	▲23
与信費用	180	300	▲55
経常利益	155	415	+201
当期純利益	125	285	▲94

〈北陸銀行(単体)〉

	中間期 予想	通期 予想	前年度比
	595	1,200	▲42
	470	955	+7
	260	525	+11
	210	430	▲4
	90	180	▲34
	105	235	+146
	95	175	▲89

〈北海道銀行(単体)〉

	中間期 予想	通期 予想	前年度比
	450	900	▲43
	360	735	▲0
	210	420	+17
	150	315	▲18
	90	120	▲20
	50	180	+54
	30	110	▲4

※10/3期中間期に、北陸銀行の分割子会社である北銀コーポレートを清算する予定であり、清算配当として30億円の特別利益を北陸銀行(単体)の業績予想に見込んでおります。

ほくほくFG連結の業績予想においては、上記の影響はありません。

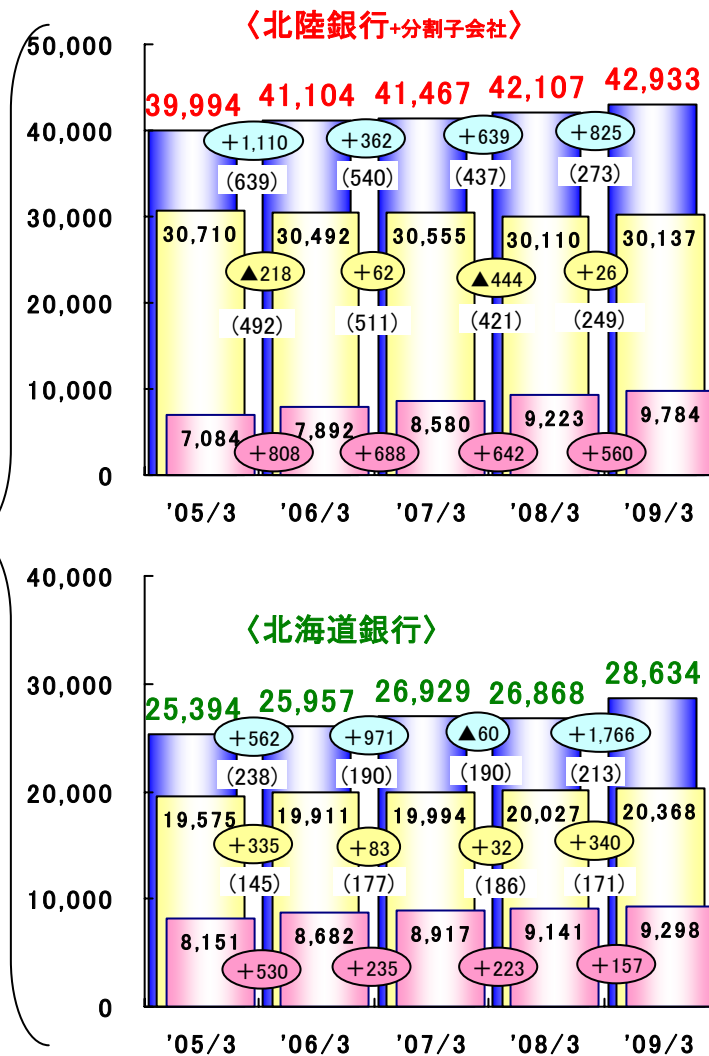
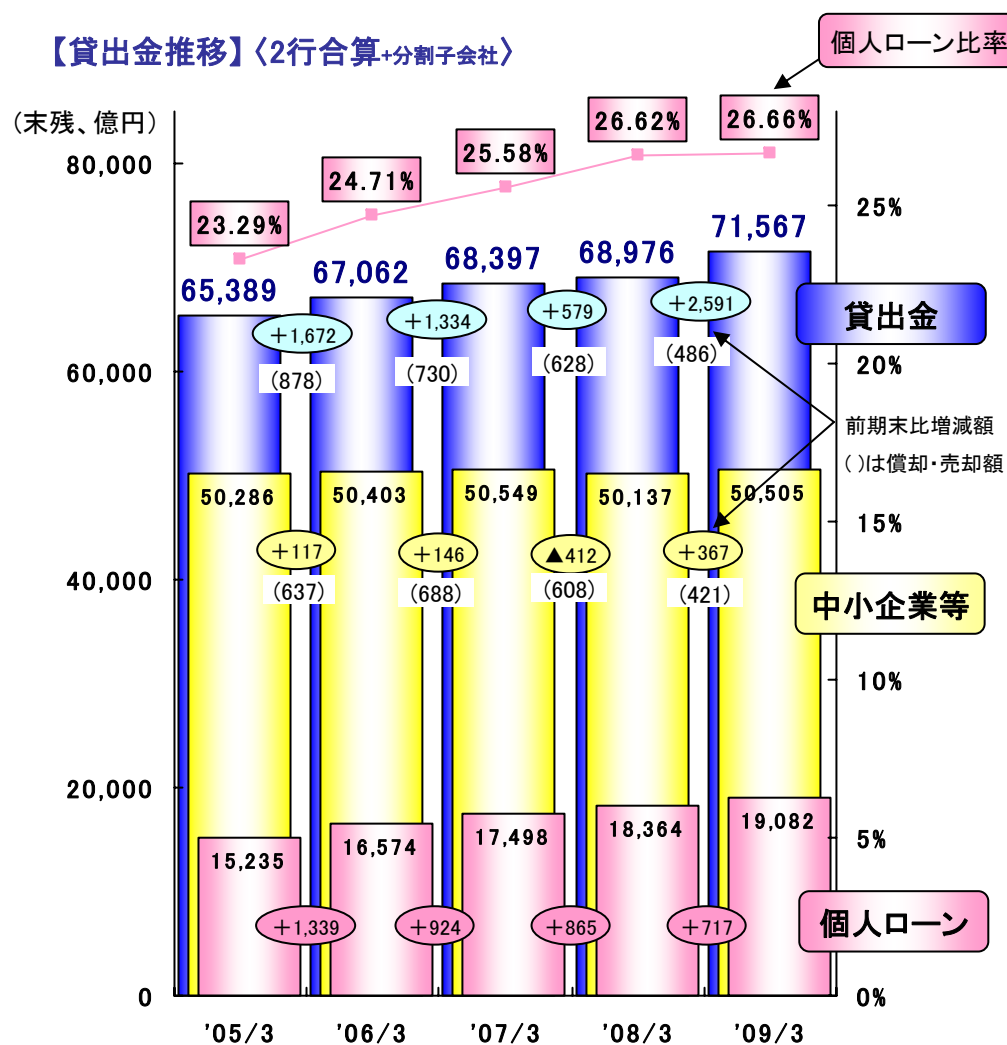
営業の実績

貸出金

- 貸出金 08/3比 +2,591億円(+3.8%)
- 中小企業等向け 08/3比 +367億円(+0.7%)
- 個人ローン 08/3比 +717億円(+3.9%)

※償却・売却要因 486億円
(うち中小企業向け421億円)

【貸出金推移】〈2行合算+分割子会社〉

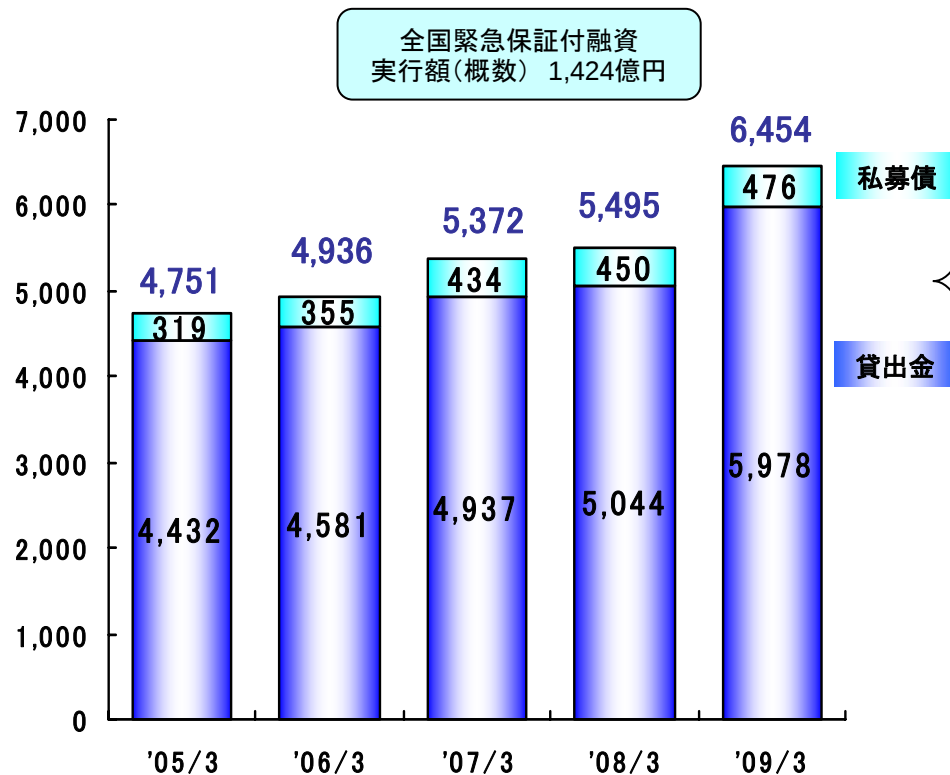


信用保証協会保証付貸出

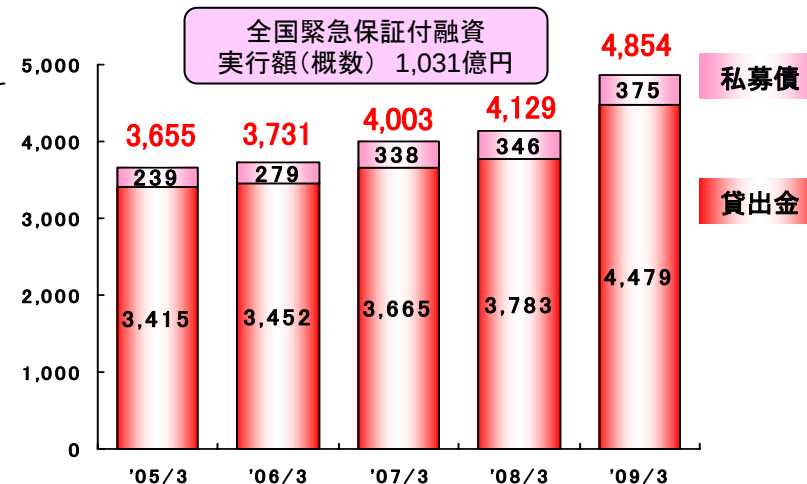
- 信用保証協会保証付貸出金等残高 08/3比 +959億円(+17.4%)
- 全国緊急保証付融資 実行額(概数)1,424億円

【マル保付貸出金等推移】〈2行合算+分割子会社〉

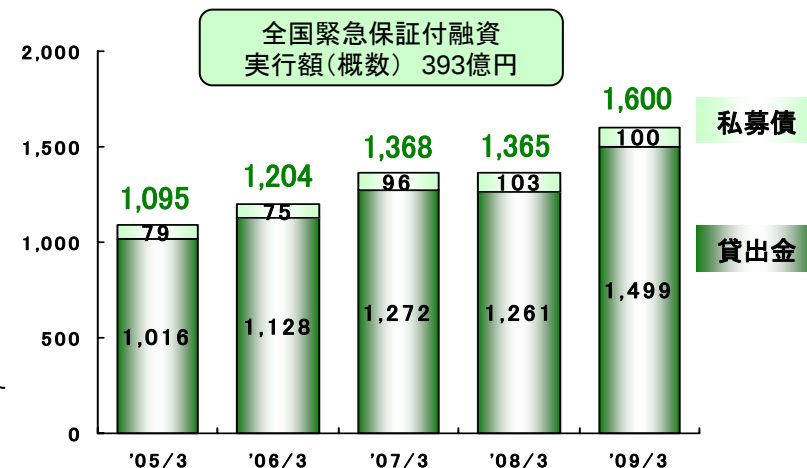
(末残、億円)



〈北陸銀行+分割子会社〉



〈北海道銀行〉

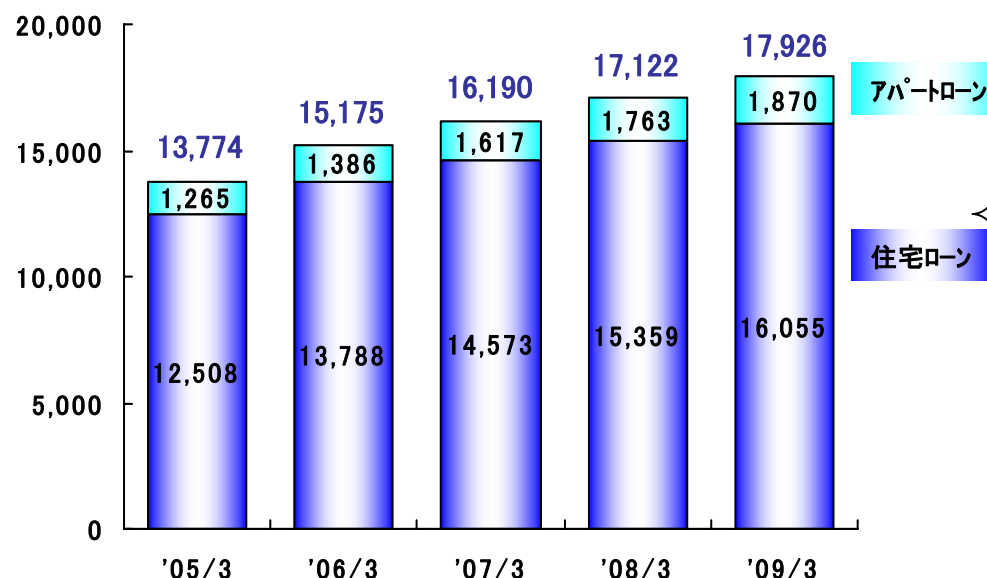


住宅ローン

- 住宅系ローン残高は803億円増加
- 住宅ローン実行額は前年並みを維持

【住宅系ローン残高の推移】
〈2行合算〉

(末残、億円)



※05/3期からRMBS（住宅ローン信託受益権）を除いた計数を記載しております。

【住宅ローン実行額の推移】

〈2行合算〉

(億円)

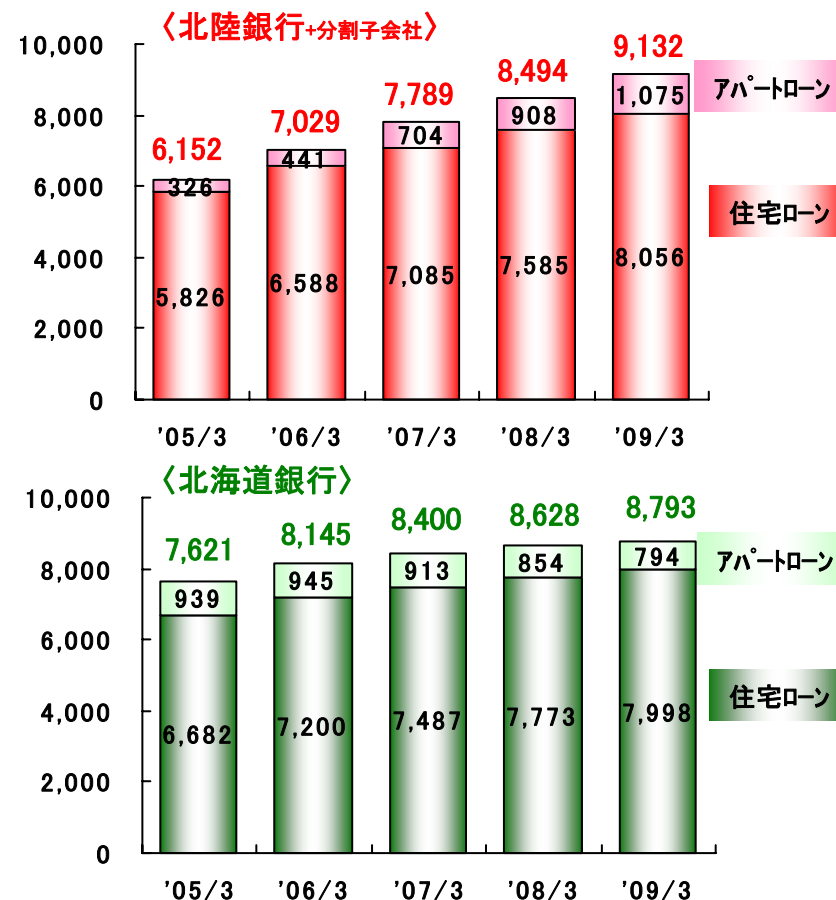
	05/3期	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期
住宅ローン実行額	2,543	2,657	2,228	2,275	2,186
うち新築	2,017	1,734	1,614	1,772	1,765
うち借換	526	923	613	502	421

〈北陸銀行〉

	05/3期	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期
住宅ローン実行額	1,504	1,334	1,076	1,135	1,108
うち新築	1,222	999	842	937	908
うち借換	281	334	233	198	200

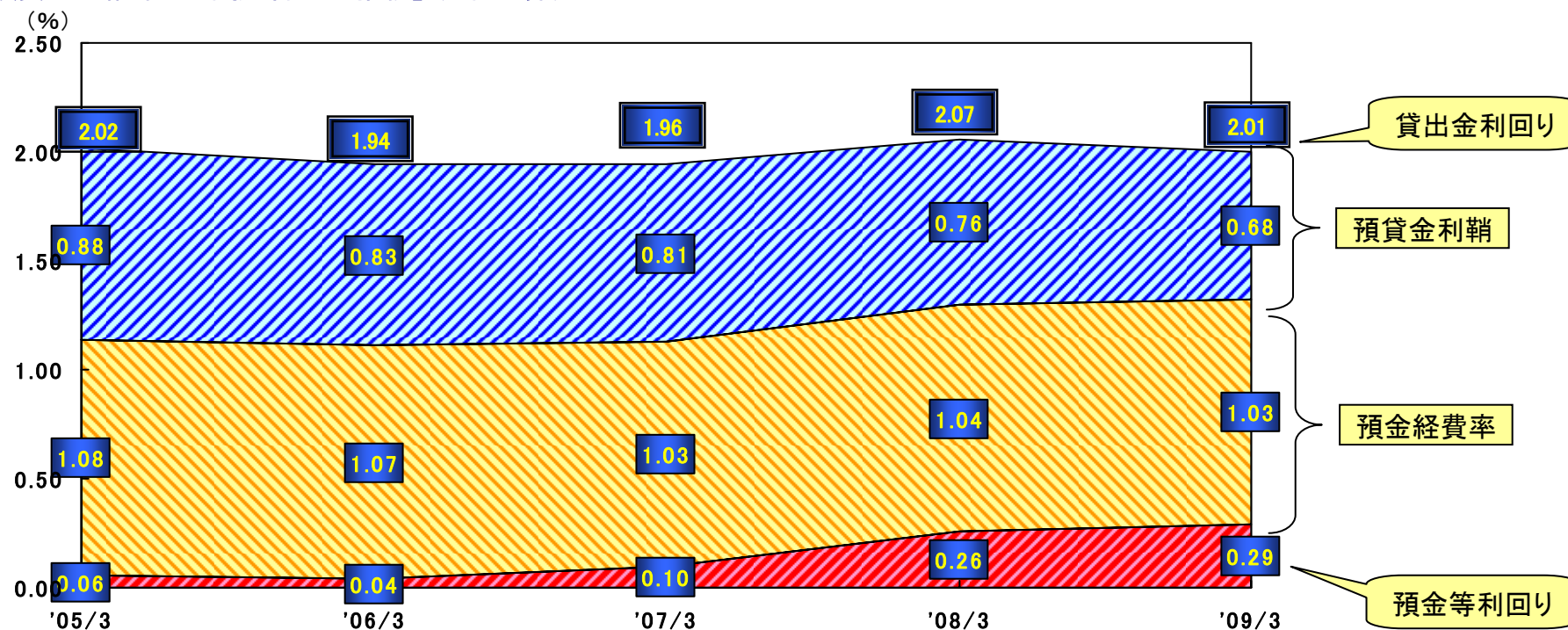
〈北海道銀行〉

	05/3期	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期
住宅ローン実行額	1,038	1,322	1,152	1,139	1,077
うち新築	794	734	772	835	856
うち借換	244	588	379	304	220



- 貸出金利回り 08/3比 ▲0.06%
- 預金等利回り 08/3比 +0.03%
- 預貸金利ざや 08/3比 ▲0.08%

【預貸金利鞘(国内業務部門)の推移】〈2行合算〉



〈2行合算〉

〈北陸銀行〉

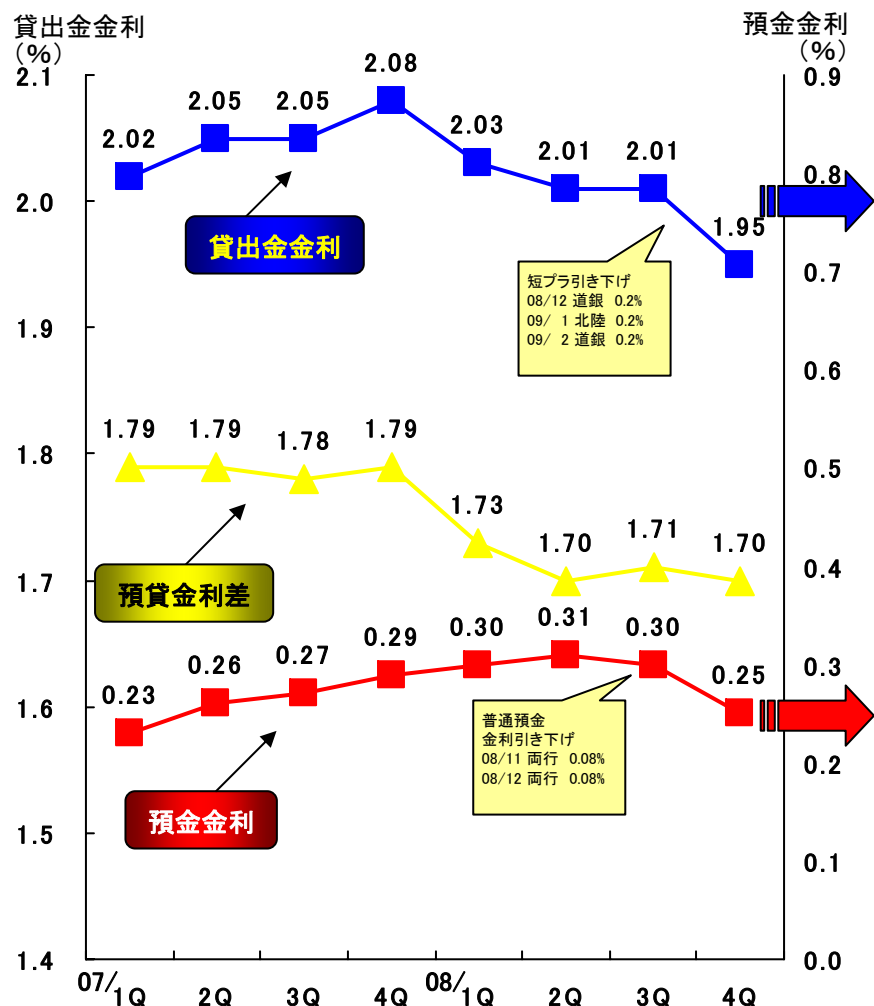
〈北海道銀行〉

(%)	05/3期	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	05/3期	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	05/3期	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期
貸出金利回り	2.02	1.94	1.96	2.07	2.01	1.94	1.85	1.88	2.00	1.93	2.16	2.09	2.07	2.17	2.14
預貸金利鞘	0.88	0.83	0.81	0.76	0.68	0.82	0.75	0.75	0.70	0.62	0.98	0.95	0.92	0.85	0.78
預金経費率	1.08	1.07	1.03	1.04	1.03	1.04	1.04	1.02	1.01	1.00	1.13	1.10	1.05	1.06	1.08
預金等利回り	0.06	0.04	0.10	0.26	0.29	0.08	0.05	0.10	0.27	0.30	0.04	0.03	0.09	0.25	0.27

預貸金利ざや②

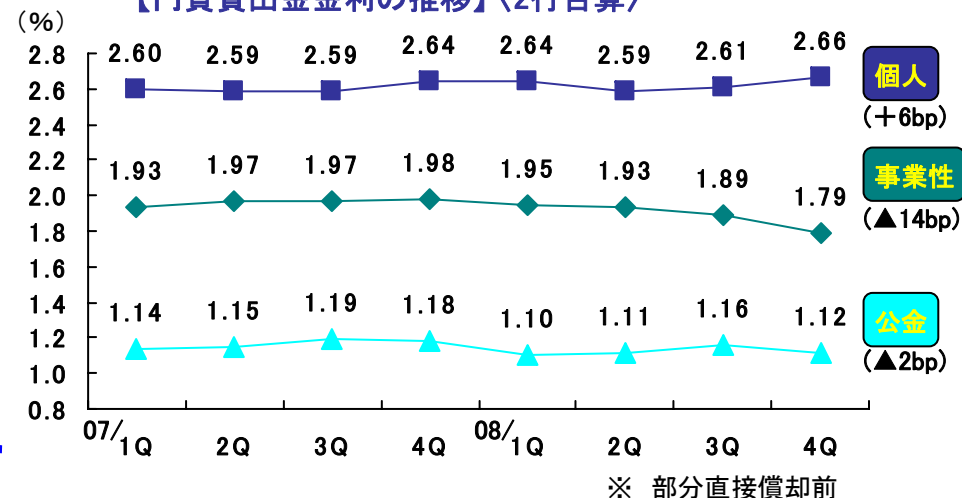
➤ 08/4Q貸出金利回り1.95%(07/1Q比▲0.07%)、預金利回り0.25%(07/1Q比+0.02%)

【円貨預貸金利の推移】〈2行合算〉

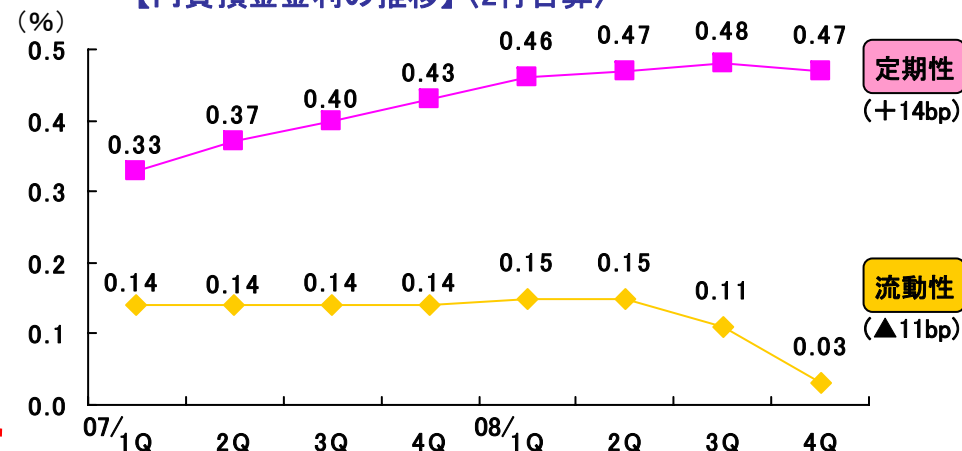


※ 内部管理ベース(約定金利ベース)

【円貨貸出金利の推移】〈2行合算〉



【円貨預金金利の推移】〈2行合算〉

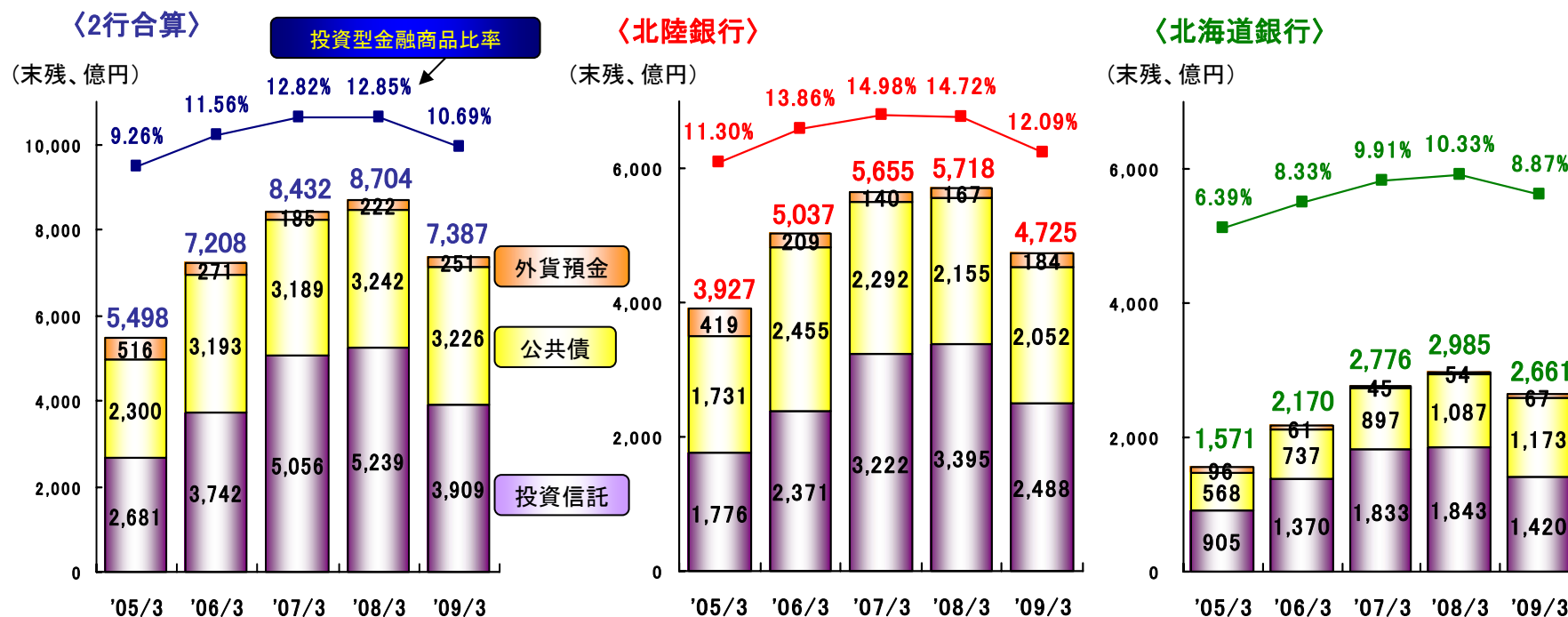


※ ()内は07/Q1との比較 21

投資型金融商品

- 投資型金融商品 7,387億円 08/3比 ▲1,316億円(うち投信▲1,336億円)
- 市場環境悪化により投信販売は減少。保険販売は前年並み維持。

【投資型金融商品の推移】

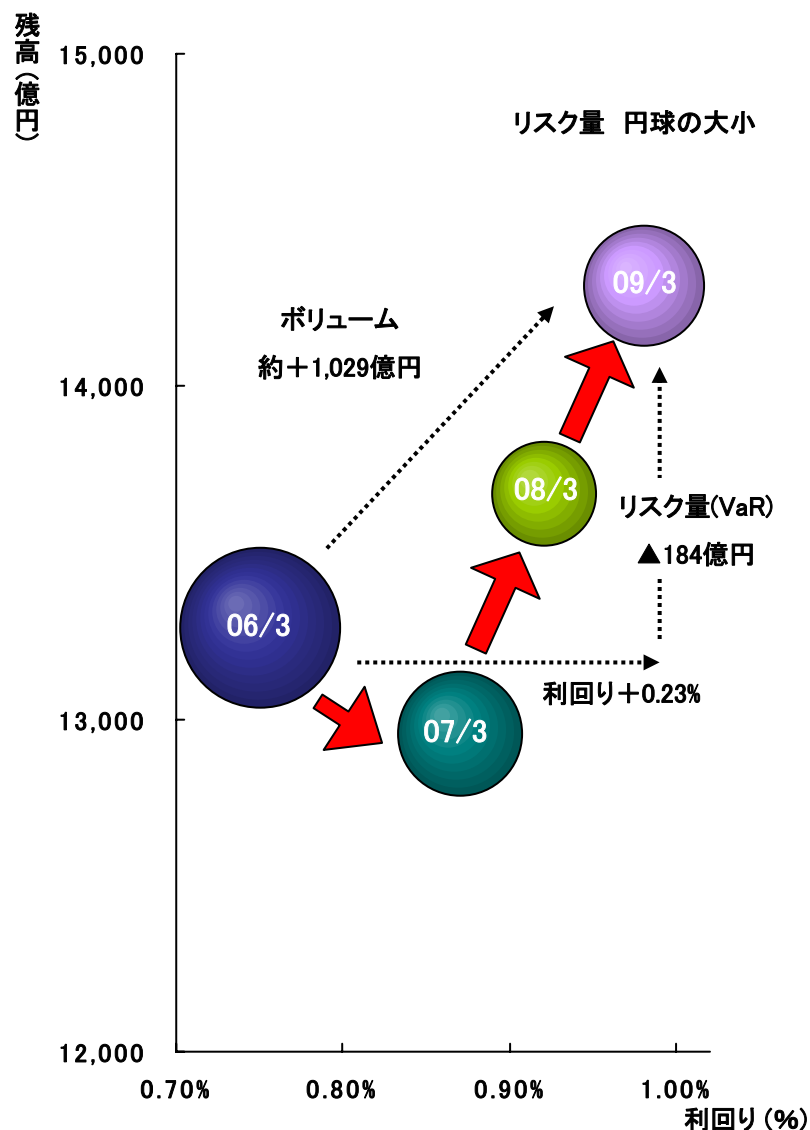


【投資型金融商品販売額、手数料の推移】

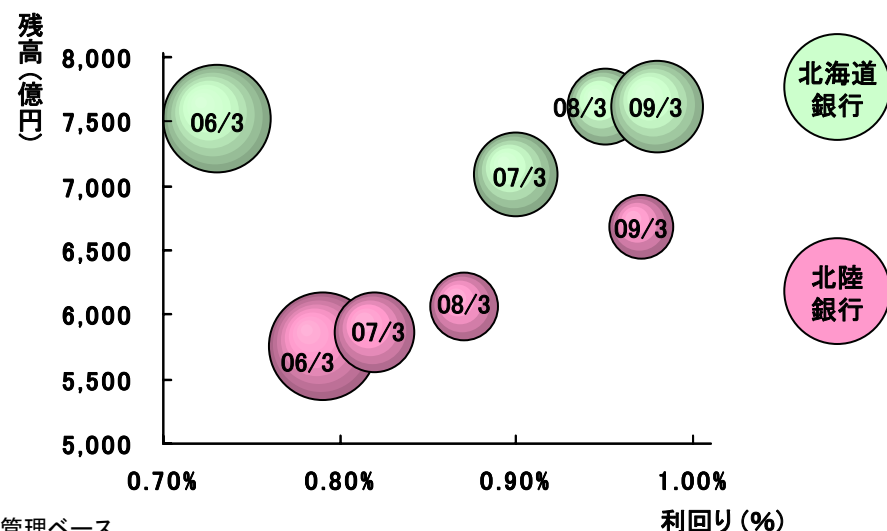
	〈2行合算〉				〈北陸銀行〉				〈北海道銀行〉			
(億円)	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期
投資信託販売額	2,486	3,308	2,618	842	1,696	2,361	1,897	440	789	946	720	401
生命保険販売額	713	879	836	829	445	584	569	555	267	294	267	273
投資信託手数料	62	91	90	43	42	61	62	27	20	29	27	16
保険手数料	38	42	44	39	26	30	30	29	11	12	13	10

ポートフォリオ(円貨債券)

【円貨債券の残高、利回り、金利リスク】〈2行合算〉



〈北陸銀行〉〈北海道銀行〉



※ 内部管理ベース

(億円)	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期
2行合算				
残高(末残)	13,273億円	12,955億円	13,676億円	14,302億円
期中平均利回り(%)	0.75%	0.87%	0.92%	0.98%
デュレーション(年)	3.07年	2.72年	2.29年	2.14年
リスク量(VaR)	452億円	276億円	210億円	268億円
北陸銀行				
残高(末残)	5,751億円	5,860億円	6,061億円	6,688億円
期中平均利回り(%)	0.79%	0.82%	0.87%	0.97%
デュレーション(年)	3.70年	3.21年	2.85年	2.45年
リスク量(VaR)	212億円	123億円	85億円	83億円
北海道銀行				
残高(末残)	7,522億円	7,094億円	7,615億円	7,613億円
期中平均利回り(%)	0.73%	0.90%	0.95%	0.98%
デュレーション(年)	2.59年	2.32年	1.85年	1.87年
リスク量(VaR)	240億円	152億円	124億円	185億円

※2007年度決算説明会資料、2008年度中間決算説明資料において計数の相違がありましたので、以下のように修正しております。

2行合算 リスク量(VaR) (08/3期) 210億円 (08/9期) 293億円
 北陸銀行 リスク量(VaR) (08/3期) 85億円 (08/9期) 99億円

経営戦略

広域地域金融グループのパイオニアとして

銀行持株会社のメリットを最大限活用したビジネスモデル

経営統合の3つの柱

営業力の強化

経営の効率化

経営基盤の安定化

顧客目線に立った経営統合

～顧客に迷惑・負担をかけず、
安心してお取引いただく。

北陸銀行・北海道銀行の
2ブランドを核として
独自性を保った営業展開・
顧客基盤の維持

広域ネットワークの強みを
存分に発揮する
ビジネスマッチングの取り組み

システム・バックヤード等の
共同化による効率化の推進

北陸銀行

北海道銀行

北海道
155カ店

グループの
広域ネットワーク

北陸
147カ店

仙台
新潟
長野
高山

三大都市圏
15カ店

2004年9月
ほくほくFG
経営統合

県境を越えた
地銀経営統合モデルの
拡がり

2006年10月
山口フィナンシャルグループ設立

2007年4月
ふくおかフィナンシャルグループ設立

2009年10月予定
フィデアホールディングス
(荘内銀行・北都銀行)

ビジネスマッチングのトップランナーとして

「食と観光」のサミット in 福井 (09/3)



食材の王国・福井を発信。
 日本全国から「食・観光」
 に関する有力バイヤーが
 福井に集結。
 総来場者数約3,600名。
 商談約3,100件

北海道「食」商談会 in 十勝 (08/8)



道内外のバイヤー、食品
 加工・外食産業の経営者、
 仕入担当者の方々を招き、
 個別商談会・セミナー・
 農業生産法人の生産現場
 訪問を実施。

「ほくほくFG商談会in大連」 (08/7)



08年度 ビジネスマッチングの成果

マッチング成約 2, 235件

融資実行額	662	億円
（うち新規融資）	178	億円
私募債発行	32	億円
不良債権回収	40	億円

「全国地銀合同商談会in上海」 (08/10)



「新技術説明会」in東京 (08/10)

北陸地区の4校合同の
 新技術説明会を後援。
 ビジネスマッチングの観点
 から多数の東京地区
 お取引先の来場を誘致。



「北海道ビジネスフォーラム2009」 (09/3)

1999年より継続開催。
 今回、北海道経済産業局の
「地域力連携拠点事業」
 に認定。

地銀随一の海外ビジネス支援体制

環日本海・東南アジアに充実したネットワーク



今後の予定

ロンドン駐在員事務所
(北陸銀行)

商談会開催

08年7月 「ほくほくFG商談会 in大連」
(FG取引先9社と大連近郊中国企業50社が商談)
08年10月「2008ビジネスマッチング in瀋陽」
(札幌市・商工会議所と共催。道内企業16社が出席。)
09年7月(予定)
「ものづくり商談会@上海(2009SUMMER)」
(地銀11行共催)

海外の行政機関との協定

【ほくほくFG】 上海市・遼寧省・
広東省・寧波市
【北陸銀行】 大連市・ベトナム政府
蘇州市
【北海道銀行】 瀋陽市・長春市・ハルビン市

セミナー開催

08年6月 「イスラム金融セミナー」開催
08年7月 「中国でものを売る」開催
08年9月 「ベトナムセミナー」開催

外銀等との提携

タイ・カシコン銀行、スタンダードチャータード銀行
インドステイト銀行、ロシア連邦外国貿易銀行
台湾FISC社
みずほコーポレート銀行
横浜銀行 (3行海外情報ネットワーク)

お取引先企業の会員組織(09/3現在)

ほくろく長城会	1,023社
ほっかいどう長城会	261社
上海長城会	160社
ほくほくASEAN会	150社

サポート業務

現地視察

パートナー
探し

工場・子会社
立ち上げ

当局許認可申請
現地法・税制対応

貿易手続

口座開設
資金調達

現地情報交換

駐在職員
取引支援

地域No.1のリレーションシップバンクとして

顧客接点の拡大

SS運動
(シュースピリット
/スピード&サービス)

中小企業貸出
ボリューム増強運動

ニーズに合った 商品の提供

ほくほくファンド
(北海道信用保証協会提携)

サポートパック

ターゲット・アドバンスⅢ

経済環境悪化への対応

緊急保証制度への対応

中小企業向け
休日経営相談会の実施

連鎖倒産防止の
相談窓口設置

地域とお客さまからゆるぎない信頼と支持を得るベストバンク

ソリューション営業

本部による渉外支援の強化

コンサルティングサービスの提供

M&A、事業承継、株式公開、
海外進出、人事制度etc

産学官連携 ・地場産業振興

大学・高専との包括的連携協定

ものづくり支援事業

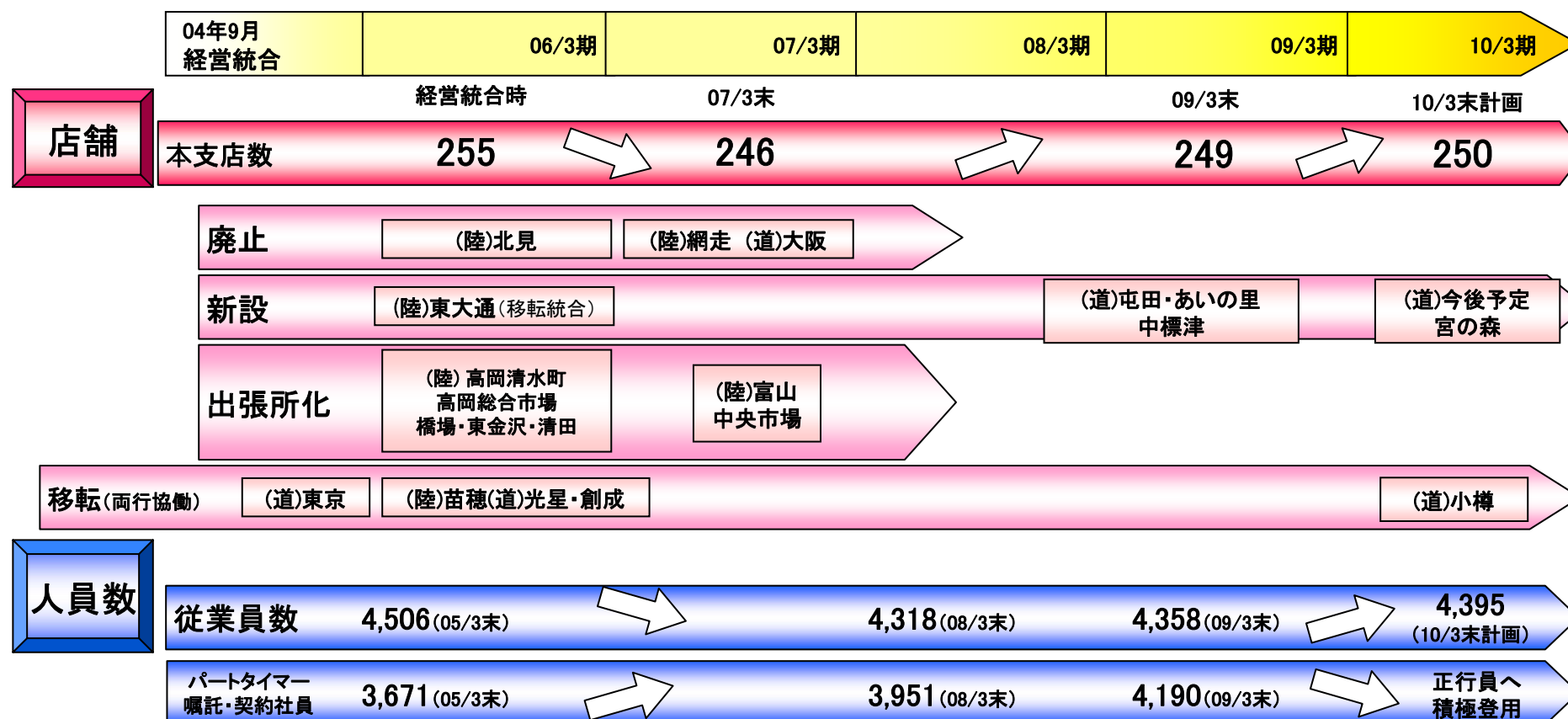
アグリパートナーズ

企業再生支援の取り組み

企業支援タスクフォース
/企業支援室

09/3期 債務者区分ランクアップ
北陸 69先 北海道 63先

人財・店舗の戦略的再配置



※店舗・従業員数は2行合算、健全化計画ベース。パートタイマーには派遣社員含む

《目的》
リテール営業戦力の確保
業務の多様化・専門化への対応
地域経済への貢献

【北陸銀行】
新規採用・中途採用の拡大・継続雇用
パートタイマー直接雇用化(09/1～ 855人)
アソシエイト制度
(正社員登用を展望した嘱託・パートタイマー雇用体系)
【北海道銀行】
新規採用・中途採用の拡大
専門職行員制度

新規採用
【北陸銀行】
09/4月 216人
10/4月 240人(予定)
【北海道銀行】
09/4月 179人
10/4月 180人(予定)

システム共同化(MEJAR)

共同利用システム(MEJAR)

NTTデータ
地銀共同センター(地銀13行)
との共同開発

19年10月「地域金融マーケティング研究会」設立
20年 2月「地銀リース業務研究会」設立
20年 6月「地銀住宅ローン共同研究会」設立

北海道銀行

北陸銀行

横浜銀行

共同化による効果

3行平準化による
コスト抑制効果

新商品・新サービス
導入の加速化

機能高度化による
顧客利便性の向上

2行共同の取り組み
活発化・多様化

事務の効率化

お客さま

サービス・チャンネル
有人チャンネル①営業店システム
無人チャンネル②ATM
ダイレクトチャンネル③インターネットバンキング

部門システム

データ・ウェアハウス
④統合データベースシステム

(MEJAR) = 基幹系システム

情報通信ネットワーク
⑤共同利用ネットワーク

サブシステム含めた
共同化の拡大

事務の統一化

営業店事務マニュアルの
統一化

事務研修の
内容共有化

事務集中業務の
共通化

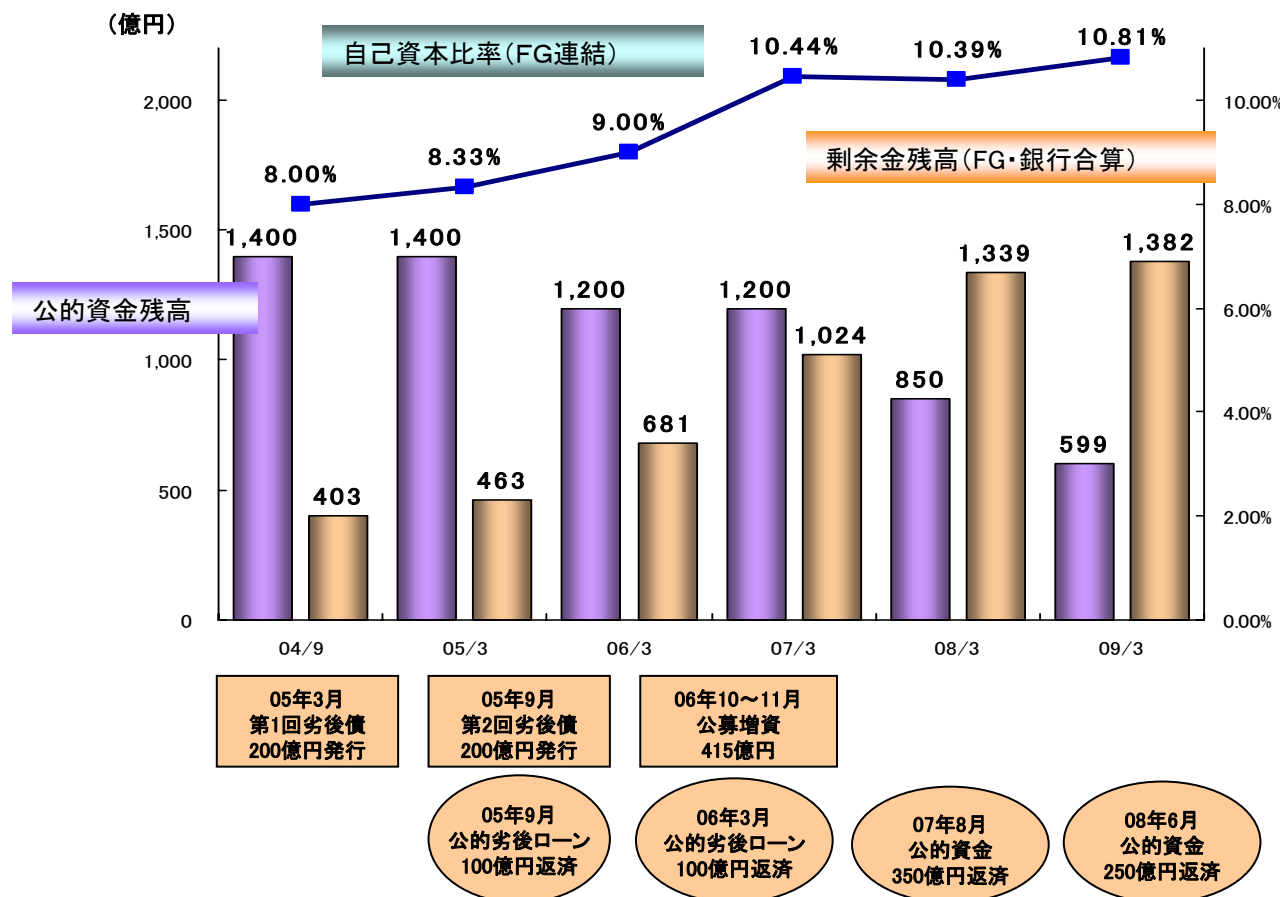
公的資金返済に向けて

公的資金(残り599億円) の返済原資は既に確保

返済後の自己資本比率を見据え、
不安定な市場環境も考慮しながら
今年度中の前倒し完済を目指す。

種類	第1回第1種優先株式	第1回第4種優先株式
発行株数	50 百万株	61.4 百万株
発行価額	1株につき500円	1株につき570円
残高	250 億円	349 億 98 百万円
優先配当金(優先配当率)	7円70銭(1.54%)	6円62銭(1.16%)
取得価額	314円40銭 取得請求期間中、毎年7月31 日の時価(注)で修正	313円90銭 取得請求期間中、毎年8月1 日の時価(注)で修正
一斉取得日	2010年7月30日	2010年8月1日

(注) 当該日に先立つ45取引日目に始まる30取引日の東京証券取引所における普通株式終値の平均値



公的資金返済後は、

- 普通株増配を検討
(公的資金導入以前のベースに)
- 民間優先株の消却を展望、
Tier1比率8%を目指す
- 更なる株主還元策
(増配、自社株消却等)

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:東田)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:honsa2@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。